

魅力ある農業へ

私は、農業機械販売会社に勤めています。今の会社に入社して20年目になり、入社当時は、春は麦刈り・田おこし・田植え・大豆植え、秋は稲刈り・乾燥・米すり、と、修理と販売などで大変忙しい思いをしていたことを思い出します。

ここ最近、麦を植える方も少なくなり、また米価の下落により、耕作意欲がうすれているように思われます。

その頃の一番の働き手は40才代から50才代の方たちでしたが、その方たちも高齢になり、後継者問題で、「私の代で農業はどうなるかわからない」「高い機械を買ってまで、農業をしても良いと子どもたちが言う」などの意見を耳にするようになりました。

いま私どものお客様の一番の働き手は、60才代から70才代の方が多く、その方たちの子どもさんたちが定年退職となり、農業を始めるとき、国や県や市が農業を始めたいような、魅力ある取り組みをしてもらいたいと思います。

先祖から引き継がれた緒方五千石の田畑を後世に残していくためにも、活力ある政策を期待しています。



おがたまち しもじざい
緒方町下自在

かわべ よりこ
川辺より子

雑感

先日、ボランティア「やすらぎの会」の方々と、議会の傍聴をする機会を得ました。

人は二度生まれると言われていています。1回目は母親から生まれるごく普通の生物学的生まれです。2回目の生まれは、開眼するときです。すぐれた眼力を身につけ、学問や技などの真髄を悟ることです。

開眼は手をこまねいては、何ももたらされません。開眼を目指す学びとして今回の傍聴は、内容は別として地域のために真剣に質疑応答する皆さまの姿は、とてもフレッシュであり、幸せな1日になりました。

また、先日「新老人の会」を立ち上げた日野原重明先生のご講演を拝聴し感じたことは、お話の間にミニコンサートがあり、会場が優しく包まれ、5分程度でしたが有意義な講演でした。

私はお叱りを受けるかも存じませんが、先々議会の中で高尚な歌声を聴き、より良い環境に身を置くことで、一体感が生まれ素晴らしい議会に発展するのではないのでしょうか。

期待しています。



きよかわまちあまつみ
清川町雨堤

くらはら ふみこ
倉原文子

■広報編集特別委員会

委員長 高山 豊吉
副委員長 小野 泰秀
委員 佐藤 辰己
和田 哲治
沓掛 義範
神志那文寛

傍聴にどうぞ！

9月定例会は、9月上旬に開会予定です。

詳しくは議会事務局 TEL 0974-22-1001へ